

2016年8月2日

報道関係各位

ソーラーフロンティア株式会社
株式会社チョープロ

長崎空港隣接地におけるメガソーラープロジェクト、竣工式を開催

長崎県内で最大、国内でも有数規模のメガソーラー
「SOL de 大村 箕島太陽光発電所」が運転開始

【東京/長崎-2016年8月2日】-ソーラーフロンティア株式会社（代表取締役社長：平野敦彦、本社：東京都港区、以下：ソーラーフロンティア）と株式会社チョープロ（代表取締役：荒木健治、本社：長崎市、以下：チョープロ）は、両社によって設立された長崎ソーラーエネルギー合同会社（以下：長崎ソーラーエネルギー）の建設による「長崎空港隣接地メガソーラー」（SOL de 大村 箕島太陽光発電所）が竣工したことをお知らせします。本日、用地の所有者である長崎県をはじめとする関係者が一同に会し、竣工式が開催されました。

本メガソーラーは、発電出力で約30MWを有し、国内有数の規模（長崎県で最大）を誇ります。初年度の発電量は、約3,700万キロワットを見込んでおり、一般家庭の年間電力消費量換算で7,500世帯分に相当します。設置にあたっては、ソーラーフロンティアが光の反射が航空機の運航に影響を与えない防眩性をもつCIS薄膜型太陽電池モジュールを供給し、千代田化工建設株式会社がEPCとして設計・調達・建設を担当しました。この太陽光発電所は2015年4月に着工され、地元のサポートを得て、設置が進められました。その中には、九州地方の金融機関も多数参加した融資団（幹事銀行：株式会社みずほ銀行）によるノンリコース型のプロジェクトファイナンス実施も含まれます。

2016年7月の完成までには、海上空港である長崎空港滑走路に隣接する立地から、航空機の離着陸による高さ制限等に対して細心の注意を払ったことに加え、電力を九州電力に供給すべく約10kmに渡って海底ケーブルが敷設されるなど、高い難易度の工事が伴いました。このたび、スケジュール通りに完成したことは、長崎ソーラーエネルギーの優れたプロジェクト推進力を示すものです。

このように、本プロジェクトの竣工は、長崎県に加え、地域のエネルギー供給者であるチョープロとソーラーフロンティアの連携の成果です。今後ともそれぞれのノウハウを活用することで、環境に優しく、経済性に優れた太陽光発電の普及を通して、地域に貢献していく所存です。

以上

【長崎空港隣接地メガソーラー（SOL de 大村 箕島太陽光発電所） 概要】

事業名	長崎空港隣接地（大村臨海工業用地他）におけるメガソーラー設置・運営事業		
設置場所	長崎空港隣接地（長崎県大村市箕島）		
敷地面積	約34ha	建設開始	2015年4月
規模	約30MW	完成	2016年7月

【長崎空港隣接地メガソーラー（SOL de 大村 箕島太陽光発電所） 空撮動画】

※空撮動画 URL : <https://www.youtube.com/watch?v=hEIXo9BWs0E&feature=youtu.be>



【竣工式の様子】



ソーラーフロンティア代表取締役社長 平野敦彦を含む関係代表者によるモニュメント除幕式

【株式会社チョーブルについて】

株式会社チョーブルは、LPGガス会社を母体に、再生可能エネルギー事業を展開しています。現在、長崎県とその近隣における事業は、本プロジェクトと合わせ出力約50MWになります。また、地球環境に配慮したクリーンな電力の地産地消を目指す新会社「長崎地域電力」を立ち上げ、電力小売事業に参入しています。サッカーJリーグ「V・ファーレン長崎」のスポンサーや、ローイングクラブの実業団チーム、オリンピックを目指すアスリートを採用するなど積極的にスポーツ振興にも取り組み、地域に根差した企業として社会に貢献しています。

【ソーラーフロンティア株式会社について】

ソーラーフロンティア株式会社は、昭和シェル石油株式会社（5002, T）の100%子会社で、世界最大のCIS薄膜太陽電池のソリューション企業です。当社が生産・販売するCIS薄膜太陽電池は、実際の設置環境における経済性および環境特性の高さが特徴で、これまでに住宅用・産業用の両面において革新的かつプロフェッショナルなソリューションをご提供してきました。ソーラーフロンティアは、太陽による快適でクリーンな暮らしをすべての人にお届けします。企業情報や最新ニュースの詳細は、当社公式のホームページ、Facebook、Twitterをご覧ください。

報道関係からの問い合わせ先:

ソーラーフロンティア株式会社 コーポレートコミュニケーション部
吉田・八宮 TEL: 03-5531-5792

株式会社チョーブル 新エネルギー事業部
定富・山口 TEL: 095-856-8101